

## 六月(水無月)その2

# 高野長英記念館の風景

### 夏越しの祓

記念館に隣接する水沢公園の向かい側には 駒形神社があります その鳥居には「夏越しの大祓式」の表示が掲げられています 夏越しの祓は 1年の半分を終えた旧暦の6月末に半年分の穢れをおとし 無病息災を願う行事です 茅の輪くぐり 形代 水無月を食べるのも 夏越しの祓の一環だそうです 【撮影：6月17日】



### 長英の手紙

叔父茂木左馬之助への手紙 1820年(文政3年)6月11日

長英 17歳。勉学を志し、実兄湛斎と従妹遠藤養林とともに江戸に行って間もなく、叔父の茂木左馬之助に宛てた手紙。江戸に着いた晩は、水沢出身の薬種商神崎屋に宿をとる。沢山の紹介状を持参していたが役に立たず、宿所や勉強する所が定まらず、お金のないまま、自ら按摩(あんま)をしながら食をつないでいた様子等細かく江戸遊学の様子を認めています。

(「高野長英の手紙」より)